

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

今と昔をつなぐ居合道

国際大会で準優勝

宇都宮女子高等学校 四方 美古都さん

昨年7月に行われた、第14回居合道会国際大会の高校生の部で、準優勝を果たした四方さん。トーナメント形式で、座技1本と立ち技2本の計3本を制限時間3分間で披露し、形や所作の正確性などが審査されました。「途中までいけるかなと思っていたので、優勝を逃して悔しい気持ちが大きい」と大会を振り返ります。



今まで、やってみたくいとは何でも挑戦してきたという四方さん。ピアノや英会話、カンフーなど、さまざまな習い事に取り組んできたそうです。居合道を始



めたのは一昨年5月。武術をやってみたかったことと、日本史が好きだったことがきっかけでした。所属する国際居合道連盟鵬玉会ほうぎょくかいは、日本史のなかでも特に好きだという、新選組三番隊隊長・斎藤一さいとういちが使い手だった無外流居合を専門としており、四方さんは、「私が学ぶ無外流居合は今と昔をつなぐもの」と話します。「次の大会では、自信を持って形を披露するとともに、挑戦の形も入れたい。今年こそ優勝を目指します」と目標を語る四方さん。その太刀筋に迷いはありません。

今回のゲスト

ルオー ブノワさん
(フランス)
10年前から市内に在住し、フランス料理店を営む。フランスではパソコンに向かって仕事をしてきたが、日本に来てから料理を修行し、現在に至る。日本の映画や書籍が好き。



外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました

今回のテーマは「ジャズ」

今回は、うつのみやジュニアジャズオーケストラの練習会場へ行ってきました。ジャズオーケストラの練習風景を見るのは初めてなので、とても楽しみにしていました。

小学生から高校生までが所属しているオーケストラのメンバーは、体に比べて大きくて重そうな楽器を演奏していました。若くてもパフォーマンスは素晴らしいですね。音のバイブレーションが心地よく、聴いていると自然に体が動いて、踊りだしたくなりました。

実は僕も趣味でベースを弾いていて、急ぎよ練習に参加させてもらいました。いろいろな楽器と一緒に大勢で合わせて演奏するのは難しかったけれど、すごく楽しかったです。音楽は生が一番ですね。

ジャズは耳だけでなく、心と体全体で感じてスイングする。まさにその通りで、今回は「ジャズのまち うつのみや」ならでの楽しい時間を過ごすことができました。また、ぜひ生の演奏を聴きたいです。



①練習に参加するブノワさん②「ジャズはみんなでスイングするのが楽しい」と話すメンバーの皆さん。指導する吉原郷之典さん(うつのみやジュニアジャズオーケストラ代表)は「ジャズのプレイヤーが育ち、ジャズ好きな人が増え、ジャズのまちうつのみやが盛り上がりたうれしい」と話します。

「ジャズ」について、4月14日(日)午前10時30分~10時40分とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(56ページ参照)。併せてご視聴ください。